



由倉労組

定期大会を

傍聴しませんか

由倉労組発行
発行責任者
加藤賢一
栃木県栃木市
藤岡町甲1730
TEL
050-3511-3720
FAX
0282-62-5420

荏原グループ労連では震災被災地のボランティアに取り組みます。詳細後報。ぜひ被災地のボランティアを経験してみませんか。

由倉労組は、10月28日(金)に、第78回定期大会を藤岡工場食堂で開催します。今年度は大会を公開し、組合員以外の方の傍聴を認めることにしました。ぜひ、大会を傍聴し、組合がどのように運営されているのかご覧になって下さい。

由倉労組の第78回定期大会を、来る10月28日(金)午後5時30分より、藤岡工場食堂で開催します。

私たちはこの1年、労働条件や生活改善のため、藤岡工場従業員の皆さんの協力を得る中で、会社と交渉するなどの活動をしてきました。労働組合の組織として小さいため、働く諸条件については皆さんの要望を

福島はいま！

福島の人たちは、毎日をどんな思いで生活しているのでしょうか。

郡山に在住の佐藤昌子さんに、福島の人たちが今どんな思いで生活しているのか、お話をさせていただきます。

多くのみなさんに、福島のいま！を聞いていただきたいと思います。

日時 10月21日(金) 6:30~8PM
会場 佐野市勤労者会館 2階
参加費無料(組合員の参加をお願いします)

10・21国際反戦デー佐野地区集会

日本経済は、企業収益の改善や政府の経済対策等を背景に、緩やかな回復基調にありましたが、東日本大震災の発生によって、労働者を取り巻く環境は、昨年以上に厳しい状況になっていきます。生活保護受給者数はすでに200万を超えており、毎月1万人以上の割合で増加しています。また、少子・高齢化の影響により、高齢者世帯や単身世帯の急

増など「家族の変化」は、さらにすすんでおり、子育てに適切な環境づくりや介護現場の充実、労働者人口の減少、年金制度のあり方など社会に問われている課題はますます大きなものになっていきます。

こうした中で、政治や社会を変革する主体として、労働組合の役割が決定的に重要になっていきます。ひとりひとりの力は微々たるものですが、みんなで団結することにより、政治や社会を変え、「いのちと健康を

守り、人間らしい生活をすすめる」ことができると思いま



10月7日、全労済の「協力団体トップセミナー」がホテル日光千姫物語を会場として開催された。全労済栃木県本部の板橋本部長は「2年に1度のセミナーであり、今回は防災、減災をテーマとした。東日本大震災では全労済も全国で約1千億円の共済金を支払い、復興の力になれたと思う。ただし、現場で強く感じるのは、共済が個人の復旧復興に十分でないケ

災害に備えて 全労済トップセミナー

入が多く見られたことである。共済は、自然災害も含めて満額の加入をと取り組んできたが浸透しきれず、自然災害への加入が無く、火災共済の見舞金の支払いだけになっ

では、発足直後で資金の無い時に「借金はいつか返済できて、失った信頼は取り戻すことが出来ない」を合言葉に、新潟県内の労組が債務保証をし、労金からの借入れに

てしまったケースがあつた。もう一声掛けていれ

よって被災者への支払いに当てたことなど、現在

ばと悔やまれてならない。今年の強化月間は火災共済の浸透に取り組むことにした。」と決意を話された。

報告を締めくくった。講演では県消防防災課の杉浦さんから、東日本震災の被害について報告があつた。県内の被害は

基調報告では、川崎専務が全労済の基本的な姿勢をあらためて話された。全労済発足直後に起きた、新潟大火(1955年)

と進んでいきました。場所によっては交差箇所が三重四重となるところも出てきました。現在では、より深く掘ることができ

職場で地域で奮闘し、頼りになる労働組合をみんなで作ろう！

どのまで深くなる東京の地下鉄。日本で初めて地下鉄が開通したのが浅草 上野間(現在の銀座線)開通した時の地上からの深度は4〜5メートルと比較的浅く

第78回定期大会の成功に向け、

ちよこ鉄雑学

組合員全員の参加と、

てっちゃん

組合員でない方も大会傍聴にぜひ参加を！

ル以上と深く

この穴を掘る工法はオーブンカットと呼ばれ、あまり深く掘ることができなかつたようです。しかし、建設路線の増加にともない、下へ下へ

ます。これを大深度地下鉄と呼び、大江戸線などがこれに当たります。これからは東京の地下鉄はますます深くなるかもしれません。